

■平城天皇 51代天皇。讓位後、藤原薬子に唆され、重祚と平城遷都を企図するも、嵯峨天皇に屈した。

へいぜいてんのう

・・・・・・・・ 774 = 生。_桓武天皇の第1皇子。母は皇后藤原乙牟漏。

桓武天皇即位 781 = 7歳：

・・・・・・・・ 783 = **9歳**：小殿親王を安殿親王と改め、

藤原種継暗殺 785 = 11歳：_藤原種継暗殺事件で、皇太弟早良親王が廃され、代わって皇太子となった。

蝦夷征伐始 788 = 14歳：元服。

・・・・・・・・ 790 = 16歳：病氣となり、

・・・・・・・・ 792 = **18歳**：占って早良親王の祟りであることがわかった。

平安京遷都 794 = 20歳：

・・・・・・・・ 798 = 24歳：この頃、_藤原縄主と藤原薬子との間に生まれた長女が妃になると、薬子は皇太子と通じ、寵愛されて東宮坊宣旨となり正式に出仕したが、醜聞を嫌った桓武天皇により放逐された。

蝦夷平定 801 = **27歳**：

桓武天皇没 806 = 32歳：*桓武の崩御をうけて踐祚。即位の儀式をあげ、その日、大同と改元し、賀美野親王(のちの嵯峨天皇)を皇太弟に立てた。手詔により觀察使のことを定め、桓武とは異なる政治を行なった。平城は聡敏で落ち着きがあり、謀りごとにたけ、みずから政治を行ない、精励して冗費を省き、法令はよく行なわれ、みな肅然して古の先哲に比較して劣ることはなかったといわれるが、寛容度にかける。

伊予親王の変 807 = 33歳：_伊予親王とその母藤原吉子を死に追いやる一方、再び薬子を召して、典侍、次いで尚侍に任じ、巧みにとりいられて寵愛、いうことはすべて聴き入れられ、何もかも薬子の思いどおりになるような状態となって、革新政治は後退し、

嵯峨天皇即位 809 = 35歳：*病気のため讓位した。しかし、嵯峨天皇が即位後ほどなくして病氣になると、居を平城古京に遷し、官人の一部を平城宮に勤務させ、薬子が常に側に侍り、威権をほしいままにし、太上天皇の名を借りて好き勝手にふるまい、さながら"二所朝廷"が存在するような状態となった。

薬子の変 810 = **36歳**：*さらに平城宮への遷都を強行しようとしたので、嵯峨側は薬子の官位を剥奪して宮中から追放するなど、断固とした処置をとった。上皇は挙兵して川口道を経由して、東国に入ろうとしたが、遮られて平城宮に引き返し、落飾した。薬子は毒を飲んで死んだが、平城宮諸司の一部は、その後も残された。

・・・・・・・・ 819 = **45歳**：

最澄没 822 = 48歳：空海から三昧耶戒を受け、灌頂を授かって、

・・・・・・・・ 824 = 50歳：_没した。